



健康第一

【2012 第20号】



当院の基本理念

地域社会との融和

基本方針

1. 地域社会に特色ある医療を担う。
(女性医療・がん医療・腎臓病・生活習慣病に専門性を発揮する)
2. 利用者が納得する医療を提供する。
3. 心の通う医療を目指す。

目次

● 退任のごあいさつ	… 1	● 管理者及び医師交代のおしらせ	… 2
● 第49回日本社会保険医学会総会 開催報告	… 3・4	● 栄養課の活動 - ご紹介 -	… 5・6
● がん化学療法看護認定看護師として	… 7	● 外来診療のご案内	… 8



退任のごあいさつ

桜が一気に開花、満開を迎える今日この頃、退任の日を迎えました。平成14年の春に就任して以来、早いもので10年の歳月が流れました。当時、国会で社会保険病院の見直しが議論され始めた頃でしたので、地域社会との融和を病院の基本理念として、病院の存在感を増すような特徴づくりに腐心いたしました。幸い濱田前院長のもとで具体化が議論、検討されていまして” **Gender Specific Medicine**” を前面に出し、急性期病院としての体裁を整えました。久留米医師会、近隣医師会の先生方には患者さんのご紹介をお願いして回りました。先生方は快く求めに応じていただき、急性期に必要な紹介率、在院日数を確保することができ、第一病院の進むべき道が定まりました。ご協力に対し改めて御礼申し上げます。



名誉院長 津田 英照

女性外来の開設は全国紙にも取り上げられ、評判を呼びました。職員たちはそれにおごることなく精進を重ね、各種の資格を得て、医療の質を上げてくれました。乳腺チームは年間300例以上の乳がん症例をこなし、多くの臨床試験、治験計画が持ち込まれるようになりました。

しかしながら社会保険病院の先行きの不透明感、病棟の老朽化による耐震不安は悩みの種でした。ようやく昨年6月には社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院の新しい受け皿として『独立行政法人地域医療機能推進機構』が成立する法律ができ、またこのたび久留米医師会から会館の跡地を譲っていただき、病棟を新設する建築許可が厚生労働省から認可されました。平成26年4月以降は新機構のもと、新しく明るい病棟で地域社会に貢献する医療が展開できることになりました。

第一病院は、田中 眞紀新病院長のもとで更なる飛躍をいたします。どうぞ温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。10年間大変お世話になりました。

平成24年4月

社会保険久留米第一病院 名誉院長 津田 英照

よろしくお願ひ致します

▶ 管理者交代のおしらせ

平成24年4月1日より管理者が交代しました。よろしくお願ひ致します。

【病院長】

旧) 津田 英照 (退職・現 久留米社会保険介護老人保健施設プレジールくるめ施設長)

新) 田中 真紀

【副院長】

旧) 南 浩 (退職・現 内科顧問)

新) 杉山 和英

継続) 磯邊 眞



病院長 田中 真紀



副院長 磯邊 眞



副院長 杉山 和英

▶ 医師交代のおしらせ

当院は久留米大学関連病院です。そのため、毎年4月には医師の交代があります。平成24年4月から11名の医師が新しく着任しました。よろしくお願ひ致します。



循環器内科部長
江口 裕之



呼吸器内科医長
北里 裕彦



内科医員
三木 康行



糖尿病内科医員
川原 万未子



腎臓内科医員
黒川 佑佳



消化器内科医員
波多野 充明



外科医長
村上 直孝



外科医員
五反田 幸人



外科医員
橋口 俊洋



産婦人科医員
西尾 薫理



放射線科医員
河野 れい



第49回日本社会保険医学会総会開催報告

社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院の職員の質の向上を図り、より良質な社会保険医療の提供を目指して毎年1回開かれる本学会は、平成23年秋に群馬県前橋市で行われる予定でした。しかし、平成23年3月11日の東日本大震災の影響で関東地区での開催は無理と判断され、被害の少ない九州福岡市で12月12～13日に行うことが決まり、私たちがお世話をするようになりました。会場は福岡国際会議場で、メインテーマは「災害に学ぶ」に設定し、準備に取り掛かりました。地震・津波という自然災害で社会基盤が一瞬にして失われた東北地方への医療・介護援助の在り方を通じて、地域社会のインフラとしての医療・介護をみつめることを主題に選んだのです。

メインテーマ関連特別企画は6部構成で、市民の参加を呼びかける市民公開講座としました。第2部は、特別講演「報道に見る災害医療」と題してNHK解説委員の鎌田靖氏に、第6部は特別講演「巨大複合災害と日本-求められる社会変革-」と題し、経済評論家の内橋克人氏に講演をしていただきました。



学会会長 津田 英照



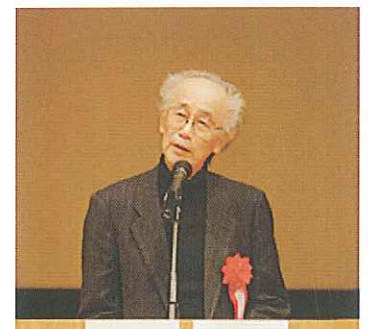
3.11大震災写真展
提供：河北新報社



鎌田
靖

講師

NHK解説委員 鎌田 靖氏



内橋
克人

講師

経済評論家 内橋 克人氏

被災地からの演題応募は少ないだろうという私の予想は見事に覆され、529題という過去最高数の演題が寄せられました。学会参加者も過去最高となりました。東日本大震災が日本国中に与えた影響は大きく、何か出来ることがあればと多くの災害関連の演題が寄せられました。今回の災害ではインフラ、情報伝達、輸送手段が遮断され、現状の把握が上手くなされず、善意から出た救助支援活動が非効率に終わるケースが見られました。日本国中どこでもこのような災害が起こることは容易に予想され、どのように効率的に医療・介護支援活動が行われるべきか考えておく必要があります。本学会では、被災地にのみ目を向けるべきではなく被災地周辺にも目を向け、支援活動前線基地としての機能を果たさせるべきとの意見が出されました。

災害は私たちに今更ながら人と人の支え合い、助け合いの心を思い出させました。内橋克人氏による特別講演では、困窮している人を助けてこそその社会であり、国家であることが熱く語られ、高齢化社会における老いへの思いやりが、医療崩壊、社会崩壊を防ぐキーになると知らされました。

参加したものが一様に社会の持つ意味を考えた有意義な学会でした。

この学会をやり遂げた社会保険病院の職員にも大きな達成感が得られました。

第49回日本社会保険医学会総会 会長 津田英照



講演会場



ポスター会場



栄養課の活動 - ご紹介 -

私たち栄養課では、患者様に選ばれる病院を目指し、高齢者や女性の皆さんに配慮した食事の提供を心がけています。ご入院中の患者様への食事は、5週間のサイクルメニューに、季節の食材や行事に応じた食事を盛り込んでおり、患者様のご要望にも対応しながらよりご満足いただけるよう努めています。

当院栄養課は栄養士、調理師、調理補助、食器洗浄などのスタッフで構成されています。

私たちも医療チームの一員として回診へ同行したり、ベッドサイド訪問などを通じてお話を伺って、お一人お一人に対応した美味しい食事の提供を行っています。管理栄養士は入院並びに外来患者様へ個別栄養指導のための面談を行い、栄養状態を把握したうえで栄養ケア計画・評価を行っています。年間1,500件を超える個別栄養指導では、高齢者や視覚障がいをお持ちの方にも配慮したわかりやすい教材を使用しています。

糖尿病専門医、内科看護師を中心とした糖尿病チームでは、患者様とご家族を対象に「糖尿病教室」、「糖尿病性腎症教室」、「腎臓病教室」を定期的で開催しています。糖尿病教室、糖尿病性腎症教室の最終日には治療食の試食会を行っています。腎臓病教室では近隣の施設の患者様も参加できるシステムにしており、近くの患者様はもちろんのこと、遠方から参加される患者様もいらっしゃいます。

その他、糖尿病チームとして糖尿病や糖尿病性腎症の臨床試験に参加、乳腺チームとして「化学療法中の食事」のパンフレット作成や毎月行われる院内セミナーにも参加し、それぞれのチームに栄養課として積極的に関わっています。



個別栄養指導



ひな祭りの日の入院食

久留米市の健康まつりには企画スタッフとして参加し、地域の皆さんへの栄養指導を行っています。また、患者サービスの一貫として「糖尿病が気になる方の食事」の健康レシピを毎月作成しています。このレシピはホームページに掲載し、院内の図書コーナーや面会室などに設置しています。おかげさまで患者様に大変な好評をいただいています。

健康レシピ

糖尿病が気になる方へ
～糖尿病を予防する食生活のポイント～

【材料】 鶏もも肉 100g、キャベツ 1/2個、人参 1/2本、こんにゃく 100g、しょうゆ 大さじ2、酒 大さじ1、ごま油 大さじ1、ごま 大さじ1、ごま油 大さじ1、ごま 大さじ1

【作り方】 1. 鶏もも肉は、3～4cm角にして皮をとり、1分ほど水にさらす。
2. キャベツはざく切りにする。
3. 人参は皮をむき、4cm角に切る。
4. こんにゃくは、1cm角に切る。
5. しょうゆ、酒、ごま油、ごまを混ぜ、鶏もも肉、キャベツ、人参、こんにゃくに絡ませる。
6. フライパンに油を熱し、鶏もも肉を焼く。
7. 鶏もも肉が焼けたら、キャベツ、人参、こんにゃくを加えて炒める。
8. 鶏もも肉、キャベツ、人参、こんにゃくが柔らかくなったら、しょうゆ、酒、ごま油、ごまを加えて炒める。
9. ごま油、ごまを加えて炒める。

昨年の12月12日、13日に災害をテーマに行われた当院主催の第49回「日本社会保険医学学会総会 ～ 災害に学ぶ ～」では、全国社会保険病院栄養士会との協力で、非常時の炊き出し実演と試食のブースを出し、学会に参加された皆さんに実際に食べていただきました。

災害時の献立

※東日本大震災の時に仙台社会保険病院が実際に被災者の方へ提供した献立です。

～焼きそばパンとツナマヨパン～

【材料】

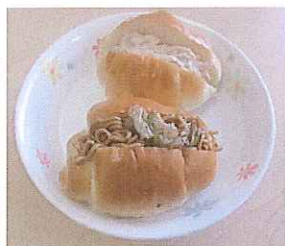
- ・ロールパン
- ・カップ焼きそば
- ・ツナ缶
- ・マヨネーズ適量

【作りかた】

- ①カップ焼きそばを作り方に従い作る。
- ②ツナ缶は油を切ってマヨネーズで和える。
- ③出来上がった具材をパンに挟んで出来上がり！

ポイント

- ・挟めるパンなら何でもOK。
- ・焼きそばにマヨネーズかツナ缶の油を少量混ぜると挟みやすいです。
- ・カップ焼きそばとツナ缶は、家のどこかに隠れていそうな食材です。災害時にはエネルギーの確保が第一。油やマヨネーズを使うのでカロリーもバッチリです！



*カップ焼きそば1個から10個ほどできます。

*ツナ缶1個(185g)から8個ほどできます。





がん化学療法看護認定看護師として

私は、乳腺疾患や婦人科疾患の患者さんが主に入院されている女性病棟の看護師長として働いています。日々の業務を行うなかで、患者さんのケア、退院後の外来化学療法室や乳腺外来との継続看護、医師や薬剤師、臨床試験コーディネーター、その他多くのスタッフとの連携に積極的に取り組んでいます。



女性病棟看護師長
時里 玉栄

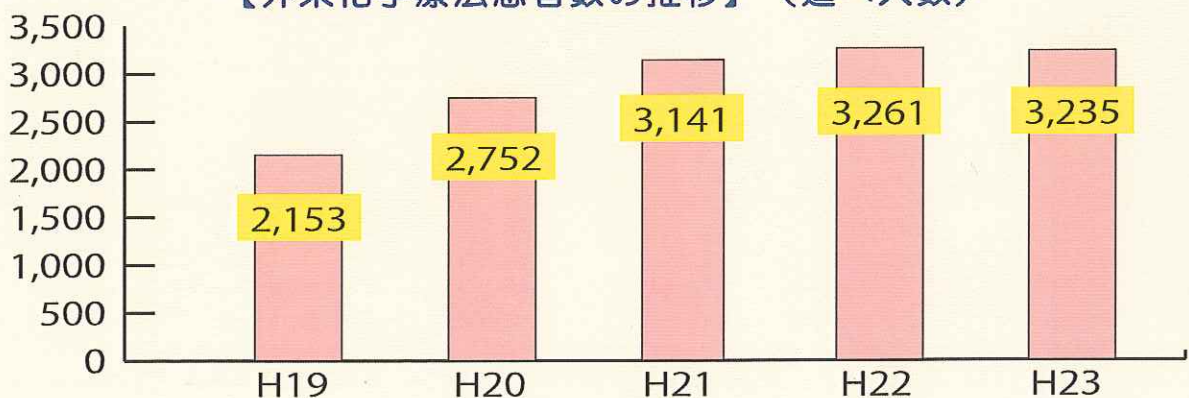
がん化学療法を受ける患者さんが増加するなか、治療内容は多種多様化し、また当院で実施する臨床試験や治験の数も増え続けています。

そのなかで私たちがより良質な看護を提供していくためには、問題を見極め対応できる知識、高度な技術を持ちそれを発揮できるリーダーの存在が必要であると感じるようになり、がん化学療法看護認定看護師の資格を取得しました。

当院で化学療法を受けていただく多くの患者さんには、CVポート（点滴等の薬剤を血管内に注入するためのカテーテル）を体内へ留置するため、1泊入院をお願いしています。化学療法の実施前にはオリエンテーションを行い、患者さんの十分な理解や納得を得て治療を進められるよう努めています。オリエンテーションでは薬剤師による服薬指導や副作用の説明に加え、看護師が痛みやリンパ浮腫が出たときの対処法や口腔ケア、治療用ウィッグについて等の説明を行っています。

私は、患者さんの心身のつらさを少しでも軽減、緩和できるようにお役に立ちたいと思っています。患者さんのケアに関わっているご家族や看護師さんも、心配ごとや悩みごとがありましたらお気軽にご相談ください。

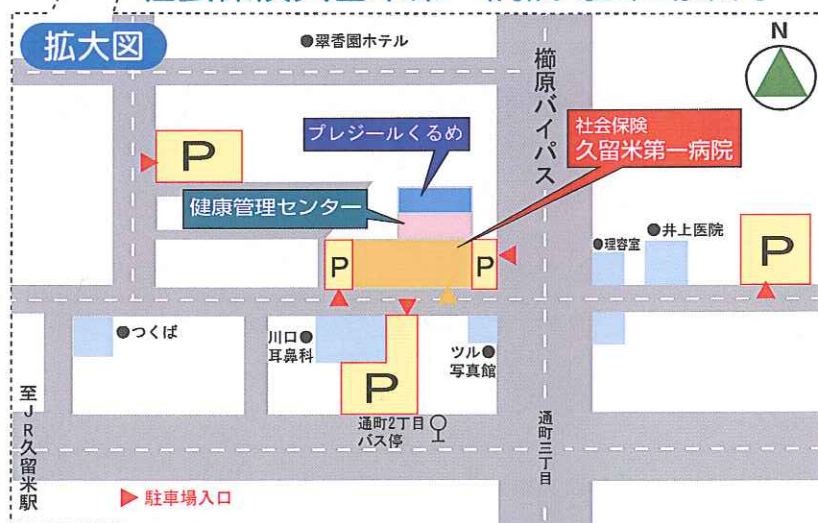
【外来化学療法患者数の推移】（延べ人数）



病院へのご案内



社会保険久留米第一病院 駐車場案内



受付のご案内

- 病院正面玄関より入られて左手に総合受付があります。
- 新患の方は職員が受付のご案内をさせていただきますので、健康保険証や紹介状等を添えて受付を行ってください。再来の方は自動再来受付機に診察券を挿入して受付を行ってください。

*来院時には必ず健康保険証をご持参下さい。健康保険証をお持ちでない場合は、保険診療の取扱いができませんのでご了承下さい。

*何かご不明な点がございましたら遠慮なくお尋ねください。

ご連絡先

社会保険久留米第一病院
 TEL (0942) 33-1211 FAX (0942) 32-0113
 〒830-0013 福岡県久留米市柳原町21番地
 HP <http://www7.ocn.ne.jp/~syaho/>

発行日：2012年4月吉日 発行責任者：病院長 田中 真紀